

平成29年度「地域でつながる家庭教育応援事業」  
家庭教育応援プロジェクト

# 会津地区フォローアップ研修会

- 目的：各教育事務所が県や地域の課題を受け、その解決に向けた研修会を行うとともに、地域の家庭教育支援者の実践力を高める。  
また、地域の家庭教育支援者の後継者を育成し、地域の家庭教育力の向上を図る。
- 日時：平成29年12月19日（火）10：30～15：15
- 場所：道の駅あいづ 湯川・会津坂下
- 参加者：76名

## 講義1「家庭教育支援の現状とこれから」

家庭教育インストラクター会津さざなみの会 佐藤信寛氏 佐藤房枝氏

### 1 さざなみの会とは

- 組織 福島県が養成した家庭教育インストラクター研修生を中心に結成
- 目的 福島県において、家庭教育・地域教育が健全に機能し、子どもたちがよりよく教育されるよう、家庭教育インストラクターが互いに協力し合って活動することを目的とする。
- 会の活動 ①講演会 ②研究協議会 ③情報交換 ④広報活動 等

### 2 会津さざなみの会の活動

<「なにをして遊ぶ」「なにをして食べよ」>

- 親子での野外活動（自然体験 アウトドアゲーム 野外炊飯）
- 野外活動の重要性（親子で協働、共汗、共感体験）

### 3 家庭教育インストラクター活動事例

- ① 活動内容 子育て講座講師、小学校教育講演会講師 等
- ② 講演テーマ 「子育ては自分育て」「楽しい子育てのために今できること」  
「みんなで語ろう！楽しい子育て」等
- ③ 留意点 ・少し先輩の母親の立場で話す ・自分の子育ての失敗談や成功例を話す  
・参加者の話す機会をつくる ・他の人の話を聞く時間をつくる

### 4 家庭教育支援のこれから

- 後継者の育成とネットワークの形成

#### 【参加者の声】

- ・ 家庭教育の大切さがよくわかり、自分たちの今後の活動の大きな参考となりました。
- ・ 野外での活動や体験が、親子のコミュニケーションを深めること、子どもの成長に必要なことがよく分かりました。
- ・ このような活動をしている皆さんがいることを初めて知り、家庭教育に興味をもちました。



## 実践発表「訪問型家庭教育支援の取組について」

西会津町家庭教育コーディネーター紫藤真理子氏、支援員 星佳子氏

### 1 事業の概要

- (1) 契機 「地域学校協働活動事業」に基づいて実施
- (2) 業務内容 家庭教育の相談と保護者へ学習機会の提供

### 2 家庭教育相談室「こころのオアシス」(H29.9/26～)

- (1) 小学校内に設置
- (2) チラシ、ケーブルテレビでの広報活動
- (3) コンセプト「相談がなくても気軽にどうぞ」
- (4) 訪問者数125人(教員・保護者・町職員・児童生徒など)
- (5) 訪問目的(情報交換、相談、ケース検討など)



### 【参加者の声】

- ・ 西会津町で、このような取組をしていることを初めて知りました。素晴らしいと思います。
- ・ 地域全体で子どもを育てる西会津町の取組は素晴らしいです。
- ・ 支援を必要としている方への関わり方の一例として参考になりました。



## 講義2「食を通した親子のコミュニケーション」

食育コーディネーター 江川和花 氏

### (1) 食育について

- ① 食べることは生きること
  - ・ すべての生活の基本
  - ・ 知育、徳育、体育など、すべての教育のもと
  - ・ 人を良くすることを育む
- ② 食育で育てたい5つの力
  - ・ 元気な体がわかる力
  - ・ 食べ物を選択する力
  - ・ 料理をする力
  - ・ 食べ物に対する感謝を感じる力
  - ・ 味が分かる力
- ③ 食育の3本柱
  - ・ 選食力
  - ・ マナーやしつけ
  - ・ 地球規模で食を考える



### (2) 7つの「こ食」と心配されること

- ① 1人で食べる孤食（社会性・協調性）
- ② 子どもだけで食べる子食（偏食）
- ③ それぞれ好きなものを食べる個食（栄養）
- ④ 決まったものしか食べない固食（栄養、肥満、わがまま）
- ⑤ 主食を好んで食べる粉食（噛む力、高エネルギー）
- ⑥ 量が少ない小食（栄養）
- ⑦ 味の濃いものばかり食べる濃食（味覚障害、生活習慣病）




### (3) 味覚（甘味・塩味・旨味・酸味・苦味）

- ① 味覚が決定する年齢 8～9歳
- ② 30%余の子どもが味覚認識でないという調査結果
- ③ 味覚を育てる鍛える食を通した親子コミュニケーション

### (4) 共食のメリット

- ① コミュニケーション
- ② 楽しさ
- ③ 栄養バランス
- ④ マナー
- ⑤ 食文化の継承
- ⑥ 協調性・社会性

#### 食を通した親子のコミュニケーション

- 
- ① 親子で共に料理を作る
  - ② 食事中に会話を共有する
  - ③ 子供が作った物を褒める
  - ④ 大人のコミュニケーション能力を高める
  - ⑤ 食事中の会話を増やす
  - ⑥ 食事を『作る』『集う』を大切にする

#### 【参加者の声】

- ・ 和花さんの自然体の素直なトークの中にたくさんのヒントがあり、ファンになりました。
- ・ 家庭教育講座の中で、保護者の皆さんにこの内容を伝えたいと思います。
- ・ とても楽しいお話でした。食事は基本ですね。7つの「こ食」が印象的でした。